

1. 2023年度 事業報告

【1】広島港の利用促進に関する活動

① 国内外ポートセールス活動

- ・広島港のPRを目的とした広島港振興協会主催「広島港セミナー」が1月26日(金)、グランドプリンスホテル広島にて開催された。2021年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてWeb及び規模を縮小していたが、今年度よりセミナー終了後の意見交換会も通常どおり開催され、当会員も多数参加し、広島港のPRを行った。
会場参加:61諸団体 (Web含め 約250名)

- ・本年度も東京会場での開催は見送った。

② 関係諸機関との連携強調

- ・新型コロナウイルス感染拡大により 約3年連携協調イベントの中止、規模を縮小し活動を行っていたが、例年通りの活動を再開した。
- ・再開にあたり、2回の講演会を開催した。
第1回(7月12日): 「広島港の機能強化に向けた取組について」
広島県土木建築局 空港港湾担当部長 内藤 孝 様
第2回(2月14日): 「広島港周辺の道路整備状況について」
広島県広島港湾振興事務所所長 田口 康典 様

【2】研修会等の開催、参加

① 研修会/講演会への参加

- ・広島県ほか関係官庁、諸団体が開催する研修会,Web会議等へ積極的に参加した。

② 海外トップ研修会の企画開催

- ・2017年(台湾)以降、開催を見送っていたが再開した。研修先は2016年 訪問した ベトナム再訪要望が多く、同じ行程とした(ハイフォン→ラックフェン港(HICT:Haiphong International Container Terminal)→DEEP-C工業団地→THACO)。また これまで会員トップの参加を主としていたが、今回より次世代を含む14名で研修実施。
企画開催にあたっては、ハイフォン手配を山九(株)広島支店様を通じ山九ベトナム社長。HICTでは 取締役(MOL出向者)にご案内いただいた。また THACO手配はマツダロジを通じマツダ様。工場及び荷揚げ港の案内は THACO副社長,THILOGI社長,日本人現地駐在員方々。各視察先、ご関係者に多大なご協力をいただいた。

【3】港湾関係合同行事の開催

① 広島港合同賀詞交歓会の開催

- ・広島みなと振興会,広島地区港運協会が共催する賀詞交歓会を1月17日グランドプリンスホテル広島にて開催した。(新型コロナウイルス感染拡大対策により2021年中止以来の開催)
交歓会には当会顧問(中国運輸局次長,中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所所長,第六管区海上保安部本部長,広島税関支署支署長,広島県空港港湾担当部長 含む)官民合わせ85名にご出席いただき執り行った。

② 三団体合同カープ観戦ツアーの開催

- ・広島みなと振興会,広島地区港運協会,広島県倉庫協会の3団体共催の野球観戦は、見送った。

【4】広島港の振興及び啓蒙活動

① 「港湾研究会」の開催

- ・ 毎月第2水曜日(14時00分～)開催を定例とし、課題事項等を会員及び関係官庁、諸団体から幅広く募り、多岐にわたり検討/意見交換を行った。(2023年度 7回開催)
- ・ 関係官庁、諸団体からの情報展開が 港湾研究会で 間に合わないときは、E-mail等を活用し、会員皆様へ早期情報配信を行った。

② 安全啓蒙・地域交流活動

- ・ 広島市立広島特別支援学校の教員と生徒、PTAとの安全啓蒙・地域交流において、2019年度にトレーラー試乗会を開催し、次年度にコンテナターミナル内の見学会を計画していたが、2023年度も見送った。

③ 広島みなと振興会ホームページ

- ・ ホームページを活用し、当会活動実績の情報公開を行った。

④ 広島港長期構想計画の実行

- ・ 2018年9月 広島県ホームページに公開された「広島港長期構想計画」概ね30年先の長期計画に対し、港湾研究会等で広島県から適宜実行状況をご報告いただき確認を行った。

⑤ 港湾荷役作業 担い手の確保

- ・ 港湾事業者 各社が 次世代 港湾荷役作業の確保を苦慮する中、当会が出席する 諸会議(中国地方国際物流戦略チーム、広島商工会議所など)において、担い手確保が大変厳しい状況であることを報告し、次世代との相互コミュニケーションを図る場があれば、紹介いただきたい旨の要望を行った。

⑥ G7広島サミット開催における協力

- ・ 2023年5月19日～21日の期間、広島でG7サミットが開催された。当会のサミット警備の功労が評価され、広島県警察本部より、感謝状を授受した。